

仲間とともに輝け三中

私は三原市内で最も規模が大きく、全校生徒455名の第三中学校に通っています。こんなに生徒数が多いと、あまりまとまりがないのではないかと思われるかもしれませんが、しかし、そんなことはありません。三中はとても団結力の強い学校です。その大きな理由が「ピア・サポート」だと思います。ピア・サポートとは、「仲間を支える」活動です。

三中の体育館には大きな文字で「仲間とともに輝け三中」と掲げられています。これは10年以上も続く三中生徒会のスローガンです。このスローガンは、仲間同士で高め合って一人一人が輝こうという意味です。そのための取り組みの一つがピア・サポートです。

その活動の一つにピア学習があります。これは毎日、帰りの短学活で行います。4人班になり、一人1枚プリントの問題をします。このとき、分かった人が分からない人に教えてあげます。教えるときは答えではなく、解き方を教えるということを大切にしています。そうすることで、分からなかった人はできるようになるし、色々な人とコミュニケーションをとるきっかけにもなります。

また、運動会では、各学年でクラスごとの団を作り、練習は3年生の団長を中心に行います。このとき、1・2年生の演技などがうまくできていなかったら、3年生が丁寧にまた真剣に教えます。これは学年を越えたピア・サポートです。

このようなことから、三中は学年を問わず、本当に結束力が強く、そして、一人一人が輝けていると思います。私は、このような三中で3年間学べてよかったと思っています。これから三中の伝統を大切にしていつまでも仲間とともに輝ける三中であってほしいです。



わがまちに望む夢

三原の未来を担う子ども達の声を紹介します
— 連載第20回 —

五中の軌跡

私の通う第五中学校は、緑に囲まれた自然豊かな学校です。四季の移り変わりを、目で見て肌で感じられるこの環境で、日々、勉強や部活動、さまざまな行事に励んでいます。

五中の生徒会スローガンは「結ぶ、深める、五中の絆」です。私たちは色ごとにチームを組むので、団結し絆を深めています。運動会のクラスも最優秀賞を目指し、自主的に朝と放課後の練習に一生懸命取り組みます。このような日々の努力の積み重ねが、互いの絆を深め団結力へとつながっています。

さらに、五中は、毎年行っている運動公園などの地域の清掃活動に加えて、多くのボランティア活動を行ってきました。一つ目は、エコキャップ回収ボランティアです。これは、世界の困っている人たちのために、全校一丸となり取り組みました。二つ目は、広島市の土砂災害により、命を失った方々や、大切な人や住む場所を失った方々に思いをはせ行った募金活動です。どちらも、社会に目を向け貢献していくという点で、五中生にとって貴重なものとなりました。

